

八王子市夢美術館

施設名		八王子市夢美術館													
視点	評価項目		6月			9月			12月			期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）				
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	人員配置 （館長1名、学芸員2～3名、事務職員3～4名、受付1ポスト以上、監視員等（土日祝1ポスト））	1	B		計画通り配置した。	B		計画通り配置した。	B		計画通り配置した。	B		計画通り配置した。来場者の多い繁忙日には受付ポストを増員し、事務所スタッフからの応援も実施している。
		有資格者配置 （学芸員、甲種防火管理者・防災管理者、衛生推進者、普通救命技能認定、サービス介助士資格者）	2	A	計画通りに人員を配置のうえ、衛生推進者等、基準以上に配置することで、施設の安定的な管理運営につなげた。	A	計画通りに人員を配置のうえ、衛生推進者等、基準以上に配置することで、施設の安定的な管理運営につなげた。	学芸員、防火防災管理者を計画通り配置した。 衛生推進者は7名、AED業務従事者12名、サービス介助士は8名が取得している。	A	計画通りに人員を配置のうえ、衛生推進者等、基準以上に配置することで、施設の安定的な管理運営につなげた。	学芸員、防火防災管理者を計画通り配置した。 衛生推進者は7名、AED業務従事者12名、サービス介助士は8名が取得している。	A	計画通りに人員配置のうえ、衛生推進者等、基準以上に配置することで、施設の安定的な管理運営を行った。	学芸員、防火防災管理者を計画通り配置した。 衛生推進者は7名、AED業務従事者12名、サービス介助士は8名が取得している。	
		点検業務実施回数 16回／年 （項目） ・フロン法簡易定期点検空調PAC・PAH各 4回（計8回） ・ITV 1回 ・空調PAC・PAH各 1回（計2回） ・加湿機点検 2回 ・恒温、恒温空調自動制御 1回 ・自動ドア2種各 1回（計2回）	3	年度末の数値をもって評価する。	点検業務実施回数 4回 ・フロン法簡易定期点検空調PAC0回、PAH1回 ・ITV 1回 ・空調PAC0回、PAH1回 ・加湿機点検 1回 ・恒温、恒温空調自動制御 0回 ・自動ドア2種各0回（計0回）	年度末の数値をもって評価する。	点検業務実施回数 7回 ・フロン法簡易定期点検空調PAC 1回、PAH 1回 ・ITV 0回 ・空調PAC 1回、PAH 1回 ・加湿機点検 0回 ・恒温、恒温空調自動制御 1回 ・自動ドア2種各1回（計2回） 累計11回	年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価する。	点検業務実施回数 8回 ・フロン法簡易定期点検空調PAC 2回、PAH 1回 ・ITV 0回 ・空調PAC 1回、PAH 1回 ・加湿機点検 1回 ・恒温、恒温空調自動制御 0回 ・自動ドア2種各1回（計2回） 累計 18回	美術館を運営するうえで重要な機器である空調機器について、不具合を早期に発見できるよう計画以上に点検を実施した。積極的な施設の維持管理に努めており評価できる。	A	1-3月期点検業務実施回数 2回 ・フロン法簡易定期点検空調PAC 1回、PAH 1回 累計各4回 ・ITV 0回 累計1回 ・空調PAC 0回、PAH 0回 累計各2回 ・加湿機点検 0回 累計2回 ・恒温、恒温空調自動制御 0回 累計1回 ・自動ドア2種各0回 累計各2回 累計20回 その他PAH空調フィルター交換、PAC空調フロン定期点検1回を実施した。空調機器点検は水準以上の保守を行い、経年劣化の進む機器の早期異常発見に努めた。		
		定期清掃実施回数 13回／年 （項目） ・床2回 ・展示室・収蔵庫・窓・照明・害虫各1回（計5回） ・空調フィルターPAC・PAH各3回（計6回）	4		定期清掃実施回数 8回 ・床1回 ・展示室・収蔵庫・窓・照明・害虫各1回（計5回） ・空調フィルターPAC・PAH各1回（計2回）		定期清掃実施回数 0回 ・床0回 ・展示室・収蔵庫・窓・照明・害虫各0回（計0回） ・空調フィルターPAC・PAH各0回（計0回） 累計8回			定期清掃実施回数 5回 ・床 1回 ・展示室0回・収蔵庫0回・窓1回・照明0回・害虫1回（計2回） ・空調フィルターPAC・PAH各1回（計2回） 累計13回			B	1-3月期定期清掃実施回数 2回 ・床 0回 累計2回 ・展示室0回・収蔵庫0回・窓0回・照明0回・害虫0回（計0回） 累計7回 ・空調フィルターPAC・PAH各1回（計2回） 累計6回 累計15回 窓清掃、害虫駆除は水準以上に実施した	
		中期保全計画の更新 1回／年	5		年度末の数値をもって評価する。 中長期保全計画の内容を更新し、市に提出済みである。		6月更新 1回			年度末の数値をもって評価する。			6月更新 累計1回	年度末の数値をもって評価する。	6月更新 累計1回
定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか 【確認資料例：銀行口座】	6	B		適切に開設している。	B		適切に開設している。	B		適切に開設している。	B		適切に開設している。
		資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか 【確認資料例：独立した会計帳簿】	7	B	事業ごとの会計データ管理、施設で独立した日毎、月毎の入出金会計帳簿により適切に管理している。	B	事業ごとの会計データ管理、施設で独立した日毎、月毎の入出金会計帳簿により適切に管理している。	B	事業ごとの会計データ管理、施設で独立した日毎、月毎の入出金会計帳簿により適切に管理している。	B	事業ごとの会計データ管理、施設で独立した日毎、月毎の入出金会計帳簿により適切に管理している。	B	事業ごとの会計データ管理、施設で独立した日毎、月毎の入出金会計帳簿により適切に管理している。		
		利用料金、使用料の徴収は適正に行われているか 【確認資料例：独立した会計帳簿・日報、月報・使用料等収納（徴収）事務委託契約書・銀行口座】	8	B	独立した会計帳簿、日報、月報で管理し、適正に行っている。	B	独立した会計帳簿、日報、月報で管理し、適正に行っている。	B	独立した会計帳簿、日報、月報で管理し、適正に行っている。	B	独立した会計帳簿、日報、月報で管理し、適正に行っている。	B	独立した会計帳簿、日報、月報で管理し、適正に行っている。		
	収支計画が適正であること	収支計画が適正に執行されているか 【確認資料例：事業計画書（収支計画）・事業報告書】	9	B	収支計画に基づき、事業ごとの会計データで管理し適切に執行している。	B	収支計画に基づき、事業ごとの会計データで管理し適切に執行している。	B	収支計画に基づき、事業ごとの会計データで管理し適切に執行している。	B	収支計画に基づき、事業ごとの会計データで管理し適切に執行している。	B	収支計画に基づき、事業ごとの会計データで管理し適切に執行している。		
		業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか 【確認資料例：事業計画書（人員配置計画）・事業報告書・研修報告書・実地調査】	10	B	適切に行っている。クレジット導入に伴うレジ研修のほか特別展ごとに研修し人員の育成を行っている。	B	適切に行っている。特別展ごとの研修のほか受付接遇研修を実施し、人員の育成を行っている。	B	適切に行っている。特別展ごとの研修のほか交通安全、AED研修を実施し、人員の育成を行っている。	B	適切に行っている。特別展ごとの研修のほか交通安全、AED、情報セキュリティ、接遇研修を実施し人員の育成を行った。	B	適切に行っている。特別展ごとの研修のほか交通安全、AED、情報セキュリティ、接遇研修を実施し人員の育成を行った。		
		給与の支出が適切に行われているか 【確認資料例：給与規程・賃金台帳】	11	B	給与の支出が適切に行われている。	B	適切に行っている。	B	適切に行っている。	B	適切に行っている。	B	適切に行っている。		
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	事業者の経営状況が健全な状態であるか 【確認資料例：財務諸表・財務評価表】	12	B	健全である。	B	健全である。	B	健全である。	B	健全である。	B	健全である。		
業務の一括委託が行われていないか 【確認資料例：第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・会計帳簿】		13	B	行っていない。	B	行っていない。	B	行っていない。	B	行っていない。	B	業務の一括委託は行わず、一部委託については市の承認を受け適切に行った。			

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視点	評価項目		6月			9月			12月			期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）		
			所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）					
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	定量的	開館日数 225日／年 4－6月 52日、7－9月 67日、10－12月 50日、1－3月 56日	14	B		計画通り52日開館した。	B		計画通り67日開館した。 累計119日	B		計画通り50日開館した。 累計169日	B		1-3月期 計画通り56日開館した。 累計225日	
		特別展の開催日数 217日／年 ①アルフォンス・ミュシャ展 51日 ②ピーター・シスの闇と夢 54日 ③めぐりあう大津絵 45日 ④夢美エンナーレ入選作品展 23日 ⑤ムットーニワールド 44日	15	B		計画通り開催した。 ①アルフォンス・ミュシャ展 51日	B		計画通り開催した。 ②ピーター・シスの闇と夢 54日	B		計画通り開催した。 ③めぐりあう大津絵45日	B		計画通り開催した。 ④夢美エンナーレ入選作品展 23日 ⑤ムットーニワールド 44日	
		業務関連法令調査による法令一覧の更新 1回／年	16		年度末の数値をもって評価する。	6月実施		6月実施 累計1回		6月実施 累計1回	B		6月実施 累計1回			
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	開館日数、開館時間は守られていたか 【確認資料例：条例、規則・日報、月報・事業報告書】	17	B		開館日数、開館時間とも遵守した。	B		開館日数、開館時間とも遵守した。	B		開館日数、開館時間とも遵守した。	B		開館日数、開館時間とも遵守した。
			減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか（※該当の場合） 【確認資料例：減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	18	B		適正に処理している。	B		適正に処理している。	B		適正に処理している。	B		適正に処理している。減免の区分別に利用料金（観覧料）を日報で記録し月次で報告した。
		施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか 【確認資料例：ファイル基準表（なければそれに準ずるもの）・実地調査】	19	B		ファイル基準表に基づき適切に行っている。	B		ファイル基準表に基づき適切に行っている。	B		ファイル基準表に基づき適切に行っている。	B		ファイル基準表に基づき適切に行っている。
			修繕等、施設保全が適切に行われているか 【確認資料例：事業報告書・実地調査】	20	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		経年劣化による防犯カメラの更新、空調機加湿器部品交換等、適切に行い施設の長命化を図っている。
			備品の管理が適切に行われているか 【確認資料例：備品台帳・実地調査】	21	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。 重要備品について台帳と現品を照合し異常なかった。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。
	施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	定量的	特別展の入場者数 31,500人／年 ①アルフォンス・ミュシャ展 7,500人 ②ピーター・シスの闇と夢 9,000人 ③めぐりあう大津絵 5,500人 ④夢美エンナーレ入選作品展 2,500人 ⑤ムットーニワールド 7,000人	22		年度末の数値をもって評価する。 1回の特別展での入場者数の記録を大きく更新したことは、評価できる。	計画を13,165人上回る実績となった。 ①アルフォンス・ミュシャ展会期 20,665人		年度末の数値をもって評価する。	計画を2,488人下回ったが累計では10,677人上回っている。 ②ピーター・シスの闇と夢会期 6,512人 （会期終了した展覧会で報告） 累計 27,177人		年度末の数値をもって評価する。	A	目標を120%以上の数値で達成した。 SNSやメディアの活用が集客につながっており積極的に評価したい。	1-3月期 計画を3,373人上回った。 ④夢美エンナーレ入選作品展 2,176人 ⑤ムットーニワールド 10,697人 累計 44,638人 年間計画を13,138人（141.7%）上回る多くの来場者を得た。SNS等で話題となったミュシャ展、NHKで紹介され、毎週末にイベントを開催したムットーニ展で多くの集客があった。	
			展覧会に関する講座・トークの開催回数 10回／年	23		年度末の数値をもって評価する。 講演会は芸術文化会館で行い、トークは夢美術館内で行ったものである。	5回開催 ・ミュシャ展 講演会 1回 ・ミュシャ展 トーク 6回		年度末の数値をもって評価する。	3回開催 ・シス展 トーク 2回 ・大津絵展 トーク 1回 累計10回		2回開催 ・大津絵展 トーク 1回 ・大津絵展 講演会 1回 累計12回	A	累計12回ではあるが、ほかにムットーニ展でイベントを50回開催するなど積極的に取り組まれたことを評価したい。	累計12回 当初計画を2回上回り開催した他、ムットーニ展ではアーティストによるイベントを50回開催し、多くの来場者を得た。	
ホームページアクセス頁数 801,845ページ （参考：過年度実績） 令和4年度（2022年度）801,845ページ 令和3年度（2021年度）681,218ページ 令和2年度（2020年度）503,320ページ			24		年度末の数値をもって評価する。 ミュシャ展の効果もあり、ホームページへのアクセス数が大きく増加した。	361,468ページ （前年6月期実績186,037ページ、約倍増とした）		年度末の数値をもって評価する。	196,639ページ 累計558,107ページ		どのサイトを経由して夢美術館のホームページにたどり着いているのか、傾向まで分析していた。	133,218ページ 累計691,325ページ	-	年度末でサーバーの契約先を変更したため、第四四半期の実績を計測できなかった。年間を通じての実績が把握できなかったため、評価対象外とする。	契約サーバーのサービス終了に伴い1-3月期は解析データの記録なし。 累計691,325ページ（4-12月） 目標月平均換算66,820ページ 実績月平均換算76,813ページ（4-12月） 月平均の換算で目標を上回ることができている。	
利用者満足度調査「総合的な満足度」（大いに満足・満足の合計） 80% （参考：過年度実績） 令和4年度（2022年度）99.2% 令和3年度（2021年度）100% 令和2年度（2020年度）97.6%			25		実施した時期の数値をもって評価する。	7月実施予定		7-10月実施 アンケート集計中	A	目標を達成したことを評価したい。総合的な満足度は、昨年度の数値より下がったものの、大いに満足とした人の割合は、昨年度の54.0%から67.6%と大きく上昇した。	利用者満足度調査「総合的な満足度」 95.1% （大いに満足67.6% 満足27.5%）	A	目標を達成したことを評価する。特に、大いに満足の割合が前年に比べ大きく増えたことを積極的に評価したい。	利用者満足度調査「総合的な満足度」 95.1% （大いに満足67.6% 満足27.5%）		
定性的		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	26	B	窓口対応への苦情を踏まえ、今後、研修を実施する予定である。	組織的な体制をつくり、適切に対応している。	B		組織的な体制をつくり、適切に対応している。 9月4日に外部講師（市職）を招き接遇研修を実施した。	B		組織的な体制をつくり、適切に対応している。	B		「お客様の声」を集約、閲覧できる仕組みで情報共有し、順路案内の掲出など要望に即時対応するなどした。また外部講師による研修を実施し接遇向上に努めた。	
		事業のPRに努め幅広く周知されていること	27	B	オンラインでのプレスリリースの結果、着付けや美容の専門誌などに記事が掲載されたとの報告があった。 【ヒアリング・新聞記事等で確認】	新聞、美術雑誌等への広告出稿。 読売新聞、週刊新潮記事掲載のほか、タウン紙や専門誌、多くのウェブメディアなどで周知された。	B		新聞、美術雑誌等への広告出稿。 オンラインでのプレスリリースを継続し、日本教育新聞やタウン紙、多くのウェブメディアなどで周知されたほか、版画専門誌に1頁記事を担当学芸員が寄稿した。	B		新聞、美術雑誌等への広告出稿。 オンラインでのプレスリリースを継続。 美術雑誌「目の眼」の記事のほか、タウン紙や多くのウェブメディアで紹介された。	B	昨年度に引き続き、オンラインでのプレスリリースやSNSでの周知のほか、メディアを活用するなど、効果的に事業のPRができた。	オンラインプレスリリースにより、新規を含む多くの媒体で紹介された。SNS(X)を活用し様々な情報を提供した。3月にはNHKの美術番組で展覧会が紹介され、入場者を放送前の2倍超とした。	

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視点		評価項目		6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
				所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか	定量的	観覧料収入 12,161,000円／年(年間パスポート含む) 4-6月 3,065,000円 7-9月 4,463,000円 10-12月 1,757,000円 1-3月 2,876,000円		28	年度末の数値をもって評価する。 4-6月期の目標値を大きく上回り、評価できる。	4-6月 10,780,010円 ミュシャ展の入場者が2万人を超え、計画を7,715,010円上回った。		年度末の数値をもって評価する。	7-9月 2,689,070円 累計 13,469,080円 7-9月期は目標の60%にとどまったが、上半期で13,469,080円となり年間予算110%を超えている。		年度末の数値をもって評価する。	10-12月 1,144,800円 累計 14,613,880円 10-12月期は目標の65%にとどまったが、累計は157%となり対年間予算120%を超えている。	A	目標を120%以上の数値で達成した。	1-3月 4,131,780円 累計 18,745,660円 1-3期は目標の144%とし、累計は154.1%となり年間予算額を6,584千円上回った。
		年間パスポート販売収入 750,000円／年 (参考:過年度実績) 令和4年度(2022年度) 1,069,000円 令和3年度(2021年度) 526,800円		29	年度末の数値をもって評価する。 ミュシャ展の効果により、年間パスポート購入者が大きく増えた。	566,000円		年度末の数値をもって評価する。	7-9月 244,400円 累計 810,400円 年間予算を上半期で上回った。		年度末の数値をもって評価する。	10-12月 84,400円 累計 894,800円 年間予算を144,800円上回っている。	A	目標を120%以上の数値で達成した。 来場者数に比例して年間パスポートの販売が伸びたことに加えて、年間リーフレットを早期に配布するなど積極的な周知活動进行评估したい。	1-3月期 398,600円 累計 1,293,400円 4,5月のミュシャ展、2,3月のムットー二展リピーター及び次年度への更新で販売が多く、予算の172.5%の収入とした。また、次年度年間リーフレットを例年より早期に制作、配布し販促につながった。
		物品販売等収入 3,104,000円／年		30	年度末の数値をもって評価する。 4-6月期の収入額は、在庫にいた過去の図録の販売によるもの。	5,120円 (ミュシャ展物販清算7月以降予定)		年度末の数値をもって評価する。	7-9月 1,563,555円 累計 1,568,675円			10-12月 1,219,633円 主にシス展、大津絵展の図録、グッズ販売による収入 累計 2,788,308円	A	目標を120%以上の数値で達成した。 来場者数の多かったミュシャ展では、旧喫茶スペースを物販コーナーとして活用し、観覧の来場者とグッズを見る方の動線が重ならないよう配慮していた。	1-3月期 1,254,536円 主にムットー二展グッズおよびぐるとパス清算金による収入 累計 4,035,644円 多くの来場者があったミュシャ展、ムットー二展のグッズ販売と大津絵図録、ぐるとパスによる収入が目標を上回り、予算比130%、931千円を超える収入を得た。
		管理経費(人件費・修繕費を除く) 年度収支計画以下 支出額 83,657,000円 支出から収入(指定管理費を除く)を差し引いた額 67,392,000円		31	年度末の数値をもって評価する。	管理経費 支出額 10,309,150円 支出から収入を差し引いた額 △475,980円		年度末の数値をもって評価する。	管理経費累計 支出額 31,145,972円 支出から収入を差し引いた額 16,108,587円		年度末の数値をもって評価する。	管理経費累計 支出額 48,750,476円 支出から収入を差し引いた額 31,228,018円	A	観覧料等の収入増と支出の減により、目標から31.4%削減した数値で達成した。	支出額 69,034,373円 (なお評価項目の支出額から電気高騰分を差し引いた支出額は77,011,000円) 支出から収入(指定管理費を除く)を差し引いた額 46,231,473円
事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか	定量的	特別展の開催回数 5回／年		32	年度末の数値をもって評価する。	1回開催(ミュシャ展)		年度末の数値をもって評価する。	1回開催(シス展) (終了した特別展) 累計2回		年度末の数値をもって評価する。	1回開催(大津絵展) (終了した特別展) 累計3回	B		1-3月期 2回開催(市民公募展) (ムットー二展) 累計5回
		地域・機関との連携事業 4件／年 (はちおうじ美術館めぐり、画廊散歩、博物館実習、大学等連携)		33	年度末の数値をもって評価する。 日本工学院八王子専門学校デザインカレッジデザイン科の学生が作成した黒板アートの作品を展示し、来場者に投票してもらう取組を行った。特色ある連携事例として評価できる。	1回 日本工学院八王子専門学校と連携しミュシャ展関連事業に学生16名参加。5/10~6/4にミュシャ展に併設し作品展示。		年度末の数値をもって評価する。	1件 東京富士美術館、村内美術館と連携しスタンブラリー「はちおうじ美術館めぐり」を実施した。3館を踏破した148名には各館のグッズをプレゼントした。 累計2件		年度末の数値をもって評価する。	1件 博物館学芸員実習 多摩美術大学、中央大学、東京家政大学、東京造形大学、武蔵野美術大学の各校1名、計5名の学生を受け入れた。 累計3件	B		1-3月期 1件 美術連盟と連携し画廊散歩実施。 累計4件 日本工学院八王子専門学校、市内美術館、美術連盟と連携し特色ある事業を実施、大学生の資格取得実習、中学生職場体験の受け入れのほか、中学生絵画展、障害者文化展への審査協力を行った。
	定性的	本市の文化芸術振興に向けた管理運営がされていること	「八王子市文化芸術振興条例」及び「八王子市文化芸術ビジョン」に基づき、本市の文化芸術振興に向けた管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	34	A	・ミュシャの人気もあり、多くの方に来場いただいたことで、夢美術館を知ってもらう機会にもなった。 ・本市の特性を活かし、学生と連携することで、来場者により楽しんでもらう取組は評価できる。	19世紀のバリで人気を博したチエコの画家ミュシャを紹介。過去最高となる2万人を超える多くの方が鑑賞した。また、日本工学院の学生がミュシャをテーマに作品を制作し公開し、地域機関と連携し、市民参加、芸術鑑賞の機会を提供した。	A	旧喫茶室のスペースをピーター・シス展に関連したコーナーとして活用するなど、来場者に文化芸術に親しむ機会を提供した。ビジョンの「つたえる」に資する取組として評価できる。	古都ブラハ出身の現代絵本作家と江戸時代の民画の特別展をそれぞれ開催し、併設して旧喫茶でブラハ紹介コーナー、大津にちなんだ遊べるコーナーを設け、展示を補完し、楽しみながら知識を得る催しを行った。	A	市民公募展は、より応募しやすいように受付方法を見直した。会期中に配付するパンフレットも折り方を工夫し、より見やすいものとした。細かい改善ではあるが、こうした配慮はビジョンの「つたえる」に資する取組として評価できる。	A	来場者により楽しんでもらえるよう、参加型のスポットを用意したほか、大学連携企画など様々な工夫をされていた。ビジョンの「つたえる」に資する取組として積極的に評価したい。	国内外の優れた美術作品の紹介と市民の芸術活動の成果を発表する展覧会を実施した。また、学生が参画できる催しや来場者が気軽に参加できる遊びのコーナーから、専門家による講演会まで様々な関連企画を行った。開館20周年を記念したポスター展示と市民公募展では特別賞を設け市民を顕彰した。
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	「環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステム」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	35	B		エコマークの事務機器の使用、クールビズなど環境に配慮した取り組みを行っている。紙媒体のプレスリリースをオンライン配信とし、コピー紙、トナー使用量を削減した。	B	二次元コードを読み込むことで、展示作品リストをスマホ等で見られるようにし、紙資源の削減を図った。	エコマークの事務機器の使用、クールビズなど環境に配慮した取り組みを行っている。プレスリリースのオンライン化、展示配布資料の二次元コード化を取り入れ、紙資源、トナー使用量を削減している。	B	エコマークの事務機器の使用、クールビズなど環境に配慮した取り組みを行っている。プレスリリースのオンライン化、展示配布資料の二次元コード化を取り入れ、紙資源、トナー使用量を削減している。	B		エコマークの事務機器の使用、クールビズなど環境に配慮した取り組みを行っている。今年度は特にプレスリリースのオンライン化、展示配布資料の二次元コード化を取り入れ、紙資源、トナー使用量の削減に取り組んだ。
		事業計画が適正であること	事業計画が適正に執行されているか【確認資料例:事業計画書(事業計画)・事業報告書】	36	B		適切に執行している。	B		適切に執行している。			B		適切に執行している。

令和5年度(2023年度)モニタリングシート

視点		評価項目			6月			9月			12月			期末 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）
					所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）	所管課 評価	所管課 コメント	指定管理者 自己評価（コメント）			
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	定量的	消防（防災）訓練の実施 4回／年		37		年度末の数値をもって評価する。	1回 ビュータワー全体訓練1回		年度末の数値をもって評価する。	1回 事業所訓練実施 （事務所で机上訓練を実施） 累計2回		年度末の数値をもって評価する。	1回 ビュータワー全体訓練1回 累計3回	B		1～3月期 1回 事業所訓練 累計4回 複合施設ビュータワー八王子の全体訓練に参加するほか、事業所での訓練では被災時の備蓄品の確認などを行い有事に備えた。
		個人情報保護に係る研修 定期研修 1回／年		38		年度末の数値をもって評価する。	11月実施予定		年度末の数値をもって評価する。	11月実施予定		年度末の数値をもって評価する。	2月実施に予定変更 （八王子市の情報セキュリティ担当者に講師依頼）	B		2月実施1回/年 八王子市の情報セキュリティ担当者を講師に招き、ハッキングへの対処方などについて研修した。
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	39	B		法人規程を定め適切に行っている。	B		法人規程を定め適切に行っている。	B		法人規程を定め適切に行っている。	B		法人規程を定め、マイナンバー資料の受け渡しマニュアルを整備して管理を実践している。
		緊急（防火・防犯等）対応等危機管理体制が取られていること	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか 【確認資料例：保険証券】	40	B		加入している（1年契約）。							B		水準書で示される第三者賠償に係る保険に加入している。また、レジャー施設保険、自動車保険、賃貸テナントの火災保険に加入しているほか、展覧会開催に際しては借用の美術品等に係る輸送及び展示保険を適用している。
			事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。 【確認資料例：マニュアル・事業計画書（事業計画）・事業報告書】	41	B		消防計画のほか地震対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、適正に行っている。	B		消防計画のほか地震対応マニュアル、緊急連絡網を整備し、適正に行っている。消防署立入検査で防火戸の運用について指摘があり、10月中に部品交換して改善する予定とした。	B		消防計画のほか地震対応マニュアル、緊急連絡網を整備している。防火戸の運用について部品交換して改善した。	B		消防計画のほか地震対応マニュアル、緊急連絡網を整備している。防火戸の夜間運用について改善したほか、備蓄品の在庫確認、追加を行い有事に備えている。

期末総合評価	B
所管課コメント	【1 施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 有資格者について計画以上に配置するとともに、点検業務・定期清掃についても計画を上回る回数実施し、安定した施設の管理・運営を行った。 【2 施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 保全計画に基づく計画的な施設管理を行うとともに、特別展等の事業を着実に実施し、適正な施設の運営を行った。 【3 施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか】 利用者満足度調査では、高い満足度を得ており、質の高いサービス提供がなされていた。また、SNSの運用やメディアの活用についても積極的に取り組んだ。 【4 施設の効率的な管理・運営が行われ、経費の節減が図られているか】 年間パスポートや物品販売収入については目標を大きく上回り、また、利用料金収入も同様に目標を達成した。支出についても節減に努めている。 【5 事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか】 各特別展ごとに本市の文化芸術振興に寄与する様々な事業を実施した。 【6 個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 職員に対し防災訓練や情報セキュリティ研修等を行うとともに、個人情報の取扱いや災害発生時の対応に関するマニュアルを利用し、適正な管理を行った。 【総括】 ・年間を通して質の高い展覧会を開催し、多くの人が文化芸術に触れる機会を提供するとともに、地域性を活かした市内大学との連携事業を行い、本市の文化芸術振興に寄与した。 ・施設の運営面においては、来場者が参加できるしかけを設けるなど、より文化芸術に関心、興味を持ってもらえるよう工夫していた。 ・計画以上の点検業務、定期清掃及び適切な人員配置に加え、保全計画に基づいた計画的な設備の修繕を行い、施設の安定した管理運営を行った。 ・オンラインでのプレスリリースに加えて、SNS運用及びメディアの活用に取り組んでおり、来場者数の増につなげた。